

4 2015 APR ティータイム

《長い間ありがとうございました》

1993年3月から、書き始めた「ティータイム」ですが、最終版となりました。4月から会社も新旧入れ替えになることから、区切りをつけることとなりました。私の「つぶやき」に長い間（16年）お付き合いいただきました事に感謝しております。春夏秋冬、毎年季節は廻りますが一年として同じ年はありませんでした。時勢のなかで感じたこと、出会い・別れ・喜び・悲しみなど、読者の皆様と共有できたことに幸せを感じています。

1992年、一主婦から突然夫さんの「助っ人」として手伝うこととなり、慣れない生活から、ストレスを溜め込んでいました。ストレスの解消を考えなければ・・・ということと、何か発信できることはないだろうか・・・と。なんとなく書くことが好きだったことから仕事の息抜きにと思いついたのが始まりです。今月は何をテーマにしようか？と、ボーっと一人になれる空間でもありました。

また、読者の方々から電話・FAX・お手紙など、励ましの言葉で支えていただいたことにも重ねてお礼を申し上げます。

たくさんの出会いをありがとうございました。

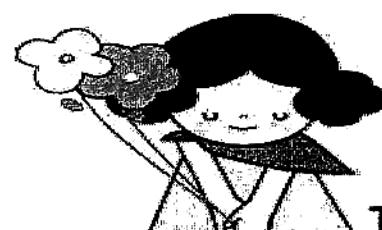
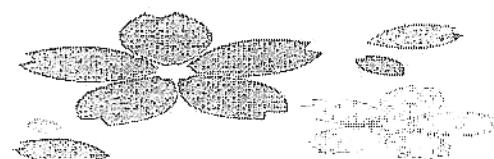
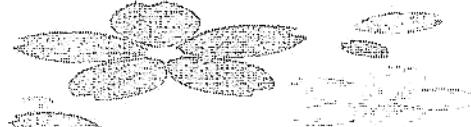
蝦名 ゆきこ

《茶うけ話》・・・「桜」のお話し

今年は3月が暖かかったため桜の開花も早く、このお便りが皆さん元に届く頃には桜前線は津軽海峡を渡っているかもしれません。

桜の原産地はヒマラヤ近郊と考えられており、現在は主に北半球の温帯に広範囲に分布しています。日本文化に馴染みの深い植物で、固有種・交配種を含め600種以上の品種が確認されています。語源は動詞「咲く（さく）」に接尾語「ら」が付き、名詞になったものといわれていますが、他にもたくさんの説の語源があるようです。桜は奈良時代から栽植されていましたが、当時は桜の開花は農業開始の指標とされていた場合もあり農業にとって非常に大切なものであったようです。そのため「信仰」「占い」のために植えられることが多かったようです。平安時代になり野生の桜を都市部に移植して鑑賞するようになつたのが花見の風習の始まりとされています。初めは貴族や宮中の行事として催されていましたが、江戸時代になり今日の様に庶民の大切な娯楽として親しまれるようになったようです。

いよいよ春本番です。



暖かさ本物、手づくりの家。



・新築・増築・改修工事・小さな改修・外構工事、その他
〒063-0850 札幌市西区八軒10条西13丁目1-35
TEL:(011)621-6289 FAX:(011)641-6263

節約成功の秘訣

温泉玉子を割る時は玉子を何回か振ってから割ると白身が殻にくっつかずきれいに割ることが出来ます。

ヘルシークッキング

春雨入り中華風にら玉

材料(2人分)

春雨	20g	①春雨は食べやすい長さに折る。
にら	50g	にらはざく切りに、卵は割りほぐして●を混ぜる。
卵	2個	②フライパンに★と春雨を入れ火にかけ、約2分煮る。
●鶏がらスープ	大さじ1	③にらを加えてサッと火を通し、強火にして油を加え、卵液を流し入れて大きく混ぜながら半熟状にし、火を止める。
●醤油	小さじ1/2	
★鶏がらスープ	1/2カップ	
★オイスターソース	小さじ1/2	
★醤油	小さじ1/2	
★こしょう	少々	
サラダ油	大さじ1/2	

長い間ありがとうございました

Thank you